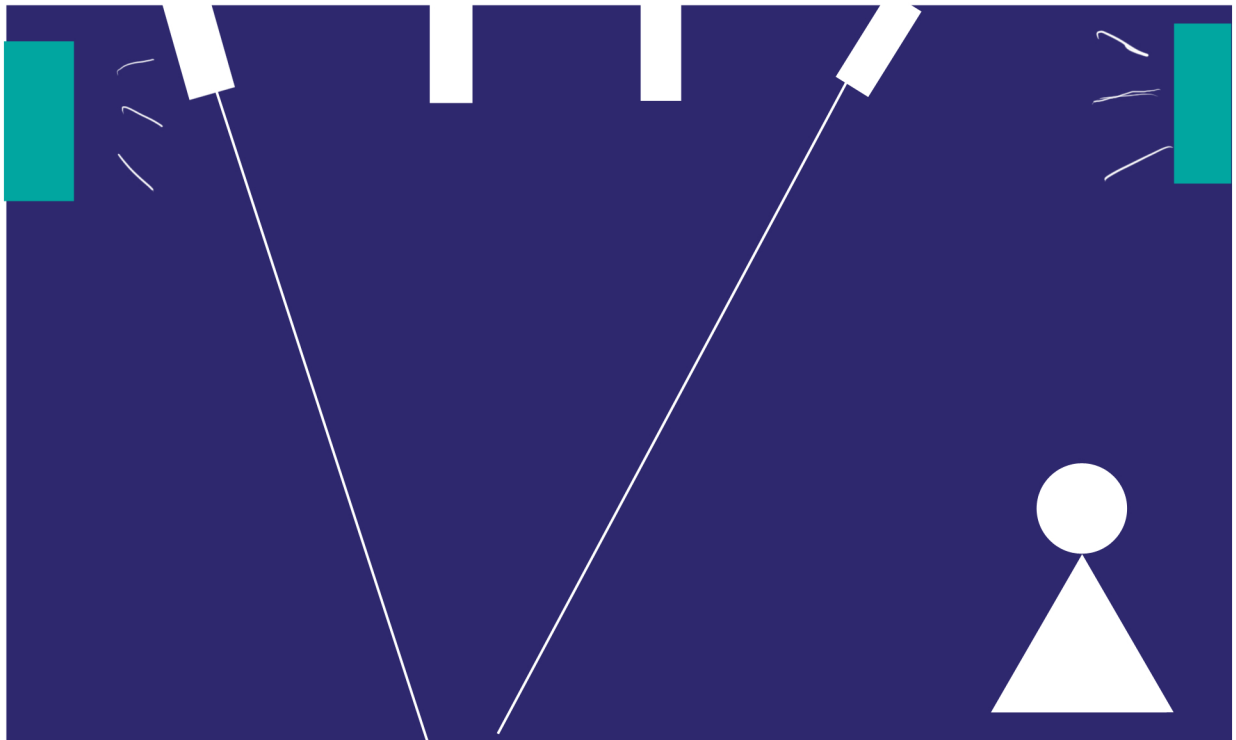


「音と光を利用したインスタレーション」

0922006 川口 夏弥



モチーフは「雷」

暗闇の中でライトを一瞬点灯し、少し遅れてからスピーカーから雷の音が出る時々強くライトが点灯し、直後に大きな音が鳴る。

また、上には音センサーが付いており、声をあげると、雷が止み、代わりにLEDライトが光り、晴れた夜空になる。

手を叩くと元に戻る。

今回の作品は、より自然的な恐怖と美しさを追求したインスタレーションにしたいと考えている。自然を挙げる理由としては、生き物が恐怖としているものの中で、特に強い恐怖感を与えるものが、自然災害だからである。

また、晴れた夜空を何故入れる必要があるのかということ、人には「慣れ」という感覚が存在し、楽しいことも、恐怖することも、段々と感じなくなってしまう。今回のインスタもあまり長い時間雷の音を聴き続けると、恐怖を感じなくなってしまう恐れがある。よって、晴れた夜空を演出することで、雷に慣れることを防止し、更に安心感を与えることで、より恐怖を感じやすくする役割がある。